

各 位



2016年8月5日

会社名 株式会社 ワコム
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 山田 正彦
 (コード番号:6727 東証第一部)
 問合せ先 取締役兼 CFO 安藤 徹
 (TEL 03-5337-6502)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2016年5月11日に公表した2017年3月期の連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2017年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2016年4月1日～2016年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,230	100	70	50	0.30
今回修正予想(B)	34,180	△1,070	△1,140	△870	△5.31
増減額(B-A)	△3,050	△1,170	△1,210	△920	
増減率(%) (B対A)	△8.2	-	-	-	
前期実績(C) (2016年3月期第2四半期)	38,956	2,053	2,098	1,261	7.62
増減率(%) (B対C)	△12.3	-	-	-	-

2017年3月期通期連結業績予想数値の修正(2016年4月1日～2017年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	82,000	4,200	4,140	3,000	18.24
今回修正予想(B)	77,900	2,400	2,300	1,620	9.89
増減額(B-A)	△4,100	△1,800	△1,840	△1,380	
増減率(%) (B対A)	△5.0	△42.9	△44.4	△46.0	
前期実績(C) (2016年3月期)	77,568	3,664	3,777	2,310	14.00
増減率(%) (B対C)	0.4	△34.5	△39.1	△29.9	-

(修正の理由)

第2四半期累計期間の業績については、ブランド製品事業では急激に進んだ円高の影響により、売上高は当初の予想を下回る見込みです。また一部製品がライフサイクルの移行期にあたり、その影響が予想されま
す。結果として、主にブランド製品事業の影響により、連結売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰
属する四半期純利益とも予想を下回る見通しとなりました。

通期につきましても、ブランド製品事業は、売上高は下期に投入する主要製品ラインの新製品の拡販効果
により業績を回復する見通しですが、円高の影響を払拭するまでには至らず当初の予想を下回る見込みです。
テクノロジーソリューション事業の売上高は、通期においても為替の影響を除けば当初の計画から大幅な変
動はないものの、円高の影響により当初の予想を下回る見通しです。結果として、連結売上高は両事業の影
響により当初の予想を下回る見通しとなりました。また、主にブランド製品事業の影響により、営業利益、経常
利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも予想を下回る見通しとなりました。

(その他)

最近の為替レートの動向を鑑み、今回修正した通期予想の前提となる平均為替レートを前回発表予想に用
いた1ドル110円から103円に、1ユーロ125円から114円に変更いたします。

2. 配当予想の修正

2017年3月期配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 発 表 予 想	0.00	18.00	18.00
今 回 修 正 予 想	0.00	12.00	12.00
当 期 実 績			
前 期 実 績	0.00	18.00	18.00

(修正の理由)

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保し
つつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。2017年3月期の期末配当につきましては、
上記の業績予想の修正のとおり、当初の予想を下回ることになったため、財務の健全性を重視し、前回発表
の予想18円00銭から1株当たり6円減配の12円00銭に修正いたします。可能な限り早期に増配出来るよう、
利益向上に向けて引き続き全力で取り組んでまいります。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しておりますが、今後さまざま
な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上